

新しい教科書の「問いの構造」

新しい教科書では、問いを構造化することで内容のまとまりでの授業がしやすくなっています。各時間の「学習課題」を積み重ねて「編・章・節の問い」を解決する構造になっています。教科書の問いに沿って授業を進めていくことで、主体的・対話的で深い学びを実現することができます。

単元を貫く問いを立てる

導入ページで、単元を通して追究していく「単元を貫く問い」（「編・章・節の問い」）を立てます。
第2編第2章・第3編第3章では、その節を大観する写真ページと1時間目、地域のトピックを取り上げた特設ページまでの内容を踏まえて、「節の問い」を立てます。

P.206-207



第3編第3章第3節 近畿地方

第3節の問い

近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

第3節の問いを解決するために、例を参考に、「なぜ」を用いた問いを立てましょう。

【例】近畿地方では、なぜ歴史的景観の保全がはかられているのでしょうか。



「単元を貫く問い」で、授業をデザインする

内容や時間のまとまりにより構成された授業をデザインすることで、主体的・対話的で深い学びを実現できます。

学習課題を追究する

導入ページで立てた問いの解決に向けて、本文ページに設定した各時間の「学習課題」と、それに対応した「確認」「表現」の問いに答えます。

P.208-209



P.214-215

2 現在にいきづく歴史的都市の特色

学習課題 歴史的都市である京都や奈良には、どのような特色があるのでしょうか。

確認 京都や奈良が歴史的にどのように発展してきたか、本文からぬき出しましょう。

表現 歴史的背景をふまえて、京都や奈良の人々の生活や産業の特色を説明しましょう。

3 港町から世界へ

学習課題 近畿地方は、歴史的に世界とどのような結びつきをもってきたのでしょうか。

確認 大阪や神戸が歴史的にどのように発展してきたか、本文からぬき出しましょう。

表現 大阪や神戸がかかえる課題と、解決のためにどのような取り組みをしているかを説明しましょう。

4 伝統を生かした産業と世界進出

学習課題 歴史や伝統を生かした産業から、新たな技術がどのように生まれてきたのでしょうか。

確認 阪神工業地帯が歴史的にどのように発展してきたか、本文からぬき出しましょう。

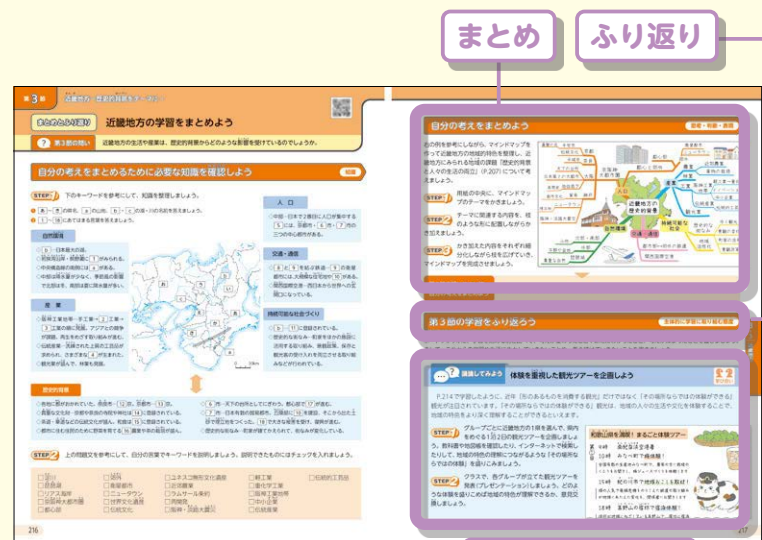
表現 阪神工業地帯と近畿地方の伝統産業がかかえる課題と、解決のためにどのような取り組みをしているかを説明しましょう。

単元を貫く問いを解決し、ふり返る

学んだことをまとめ、「編・章・節の問い」を解決します。最後に単元の学習をふり返り、次の単元へ進みます。

議論してみよう

第2編第2章・第3編第3章では、単元の学習の最後に、地球的課題や地域の課題の解決に向けて「構想」の活動を行います。



P.216-217

第3節の問いについて自分の考えをまとめよう

近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

第3節の学習をふり返ろう

ポートフォリオに、学習を始める前と比べて、考えが変わったことや新たにわかったこと、考えが深まったことを書きましょう。そして、これからの学習や生活に生かしていきたいことや、考え続けていきたいことを書きましょう。

主体的に学習に取り組む態度

議論してみよう

体験を重視した観光ツアーを企画しよう



P.214で学習したように、近年「形のあるものを消費する観光」だけでなく「その場所ならではの体験ができる」観光が注目されています。「その場所ならではの体験ができる」観光は、地域の人々の生活や文化を体験することで、地域の特徴をより深く理解することができるといえます。

地域の概要をつかむ大観ページ

教科書全体にわたって、世界の各州・日本の各地方の地域的特色を確実に捉えられる構成にしています。第2編第2章(世界の諸地域)・第3編第3章(日本の諸地域)では、学習指導要領でも求められているように、大観ページで州・地方の概要をつかんでから、導入ページで「節の問い」を立てる流れになっています。

第2編第2章 世界の諸地域
第3編第3章 日本の諸地域

大観ページ

導入

ページ

本文(追究)ページ

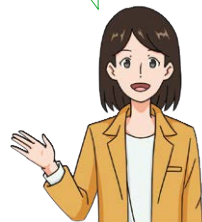
まとめ・ふり返りページ



P.202-203

P.204-205

自然環境・人文環境にかかわる写真をバランスよく掲載しています。



州・地方の主題や
考察の仕方に焦点化

左上には、主題や考察の仕方に深くかわる写真を大きく掲載しています。キャラクターの問いかけと合わせて写真を読み取ることで、自然にその州・地方の主題や考察の仕方に焦点化できます。

1

生徒の興味・関心を引く
多数の写真・地図・グラフ

多数の写真・地図・グラフから、州・地方の様々な地理的事象を読み取り、学習の最初に州・地方を視覚的に捉えます。

2

州・地方の概要を
捉えられる文章・図版

州・地方の地形・気候、人口、産業、交通・通信、歴史的背景などを文章・図版からおおまかにつかみ、州・地方の概要を捉えます。

●白地図(教科書QRコンテンツ)

第2編第2章と第3編第3章では、各節のタイトルの下にある二次元コードから参照していただける弊社Webサイトページで学習内容のまとめに役立つ各州・各地方の白地図をダウンロードすることができます。



サンプルはこちら

●雨温図の重ね合わせ
(教科書QRコンテンツ)

教科書内のすべての雨温図を自由に選択して重ね合わせたり、任意の数値を入力して作成した雨温図を教科書内の雨温図と重ね合わせたりできるコンテンツをご用意しています。



重ね合わせてみる



全州・全地方で統一した体裁・
サイズ・配置で掲載した図版

A 土地利用図、B 州・地方ごとのグラフ、C 地形地図、D 人口密度・交通地図、E 雨温図は全州・全地方で統一した体裁・サイズ・配置で掲載しているため、州・地方内で地図どうしを対比したり、ほかの州・地方と比較したりすることができます。

問いを立て、学習を見通す導入ページ

導入ページでは、大観ページから「持続可能な地域をめざして」までの学習を踏まえて、既習の知識と新しい資料を組み合わせ「節の問い」を導き出す活動を提案しています。また、立てた問いの答えを予想することを促して、その後の学習の見通しをもつことができるようになっています。

第2編第2章 世界の諸地域 第3編第3章 日本の諸地域

大観ページ

導入 ページ

本文(追究)ページ

まとめ・ふり返りページ

1

持続可能な地域を
めざして

州・地方を象徴するトピックから、その地域の特色をとらえ、州・地方の主題や考察の仕方を自然に意識できるようにします。

注目

声コーナー

教科書の各所に、現地の方の声を紹介する声コーナーを設定しています。第3編第3章の導入ページには、節の学習を見通す際にも役立つインタビュー動画をご用意しています。



サンプルはこちら

P.206-207

持続可能な地域をめざして 歴史を大切にする近畿地方の地域づくり ー京都市を例にー

2023年 人口 400 300 200 100 0% 20 40 60 80 100

2010年 61.8% 17.3 28.9

2015年 78.7 11.4 9.9

2019年 78.0 13.4 6.6

2021年 77.2 9.4 13.4

観光客でにぎわう清水坂 (2022年 京都市東山区)

「まち歩き」のための地図

京都市が景観を保全している場所

住民参加型ツアー団体の代表 以富さんの話

私たちは、地元住民の方などの案内で京都をめぐるさまざまなツアーを企画しています。ツアーは1.5~3kmほどの距離を3時間ほどかけてめぐります。私たちがめざしているのは、「人」の観光です。ガイドを務める人の本家は建築家や歴史学者、ライター、カメラマンから医師、僧侶までさまざまです。ユニークな視点をもつガイドとともに歩くことで、ふだん歩いている街が大きく違って見えてきます。有名な観光地をめぐるだけでなく、それぞれの視点で京都の街を楽しんでほしいです。

京都市は、東・北・西を山に囲まれた内陸部の盆地にあります。そのため、昼と夜の温度差や夏と冬の温度差が大きくなります。また、夏は蒸し暑く、冬は寒さがまじりくりますが、春と秋は過ごしやすい気候です。1年を通じて多くの観光客が京都をおとずれ、特に紅葉の季節は、1年のなかで観光客が最も多くなります。

京都市は、環境に配慮しつつ、地域の人々にも観光客にも快適なまちづくりをめざしており、歩く観光を進める取り組みが行われています。国内や外国から京都市をおとずれる観光客は、自動車ではなく、徒歩や電車・バスなどの公共交通機関で移動することが多く

なっています。また、京都市では、有名な観光スポットに行くだけでなく、歴史的な街なみをめぐりながら都市そのものを楽しむ「まち歩き」が人気になっています。

京都市は、歴史的な街なみを守るために、神社仏閣の周辺などの景観を保全する取り組みを進めたり、建物の高さや屋外広告の色・デザインを規制したりしています。コンビニエンスストアなどのチェーン店のなかには、京都市ではほかの地域と建物・看板の色やデザインが異なる店舗があります。京都市では、歴史的な街なみに調和する形で人々の活動が行われているのです。

206

2

気づいたことを
出し合おう

大観ページと「持続可能な地域をめざして」の内容や新しい資料をもとに気づいたことを出し合う協働的な学びを提案しています。

3

第○節の問い

気づいたことを出し合う活動を通して立てた節の問いを解決するために、「なぜ」を用いた問いを立てる活動を提案しています。

4

学習の
見通しをもとう

節の問いに対する疑問や答えの予想をポートフォリオに書きこみ、キーワードや地球的課題・地域の課題を確認して、これからの学習を見通します。

● 州や地方のキーワード その州や地方の主題や考察の仕方を中心に、その節のキーワードを系統立てて提示しています。

各州で設定している主題・地球的課題の一覧

州名	アジア州	ヨーロッパ州	アフリカ州	北アメリカ州	南アメリカ州	オセアニア州
テーマ	人口や経済発展	国境をこえた統合	自立のための開発と国際協力	世界に影響をあたえる産業	開発と環境保全	多文化社会
地球的課題	経済発展の地域格差や都市問題	統合のかげで広がる格差と対立	モノカルチャー経済からの自立	大量生産・大量消費の生活スタイル	熱帯雨林の伐採による環境破壊	多様な民族の共生

P.45

各地方で設定している考察の仕方・地域の課題の一覧

地域名	九州地方	中国・四国地方	近畿地方	中部地方	関東地方	東北地方	北海道地方
テーマ	自然環境	交通・通信	歴史的背景	産業	人口や都市・村落	持続可能な社会づくり	自然環境
地域の課題	自然環境と人々の生活の両立	過疎化・高齢化した地域の活性化	歴史的背景と人々の生活の両立	産業の競争力の維持	過密化にともなうさまざまな課題	震災から10年以上経過した現在の課題	自然環境との共生

P.169

評価

指導と評価の一体化

主体的に学習に取り組む態度

④の活動を行い、単元の学習後に改めて自分の考えを書きこむことで、生徒が学習の見通しを立て、学習後に自分の考えの変容をふり返ったり、教師の授業改善につなげたりできるようにしました。主体的に学習に取り組む態度の評価もできます。

注目

ポートフォリオ

学習の見通しとふり返りの活動に役立つポートフォリオのデータを教科書QRコンテンツとしてご用意しています。



本文は原則1授業時間を見開き2ページとし、この1時間で何を学ぶのか、どのようなことに着目して学習を進めるのかを「学習課題」「見方・考え方」で明確に示しました。また、右ページの側注欄には学習課題に対応した「確認」「表現」コーナーを設け、「編・章・節の問い」に答えるための手がかりとなるように工夫しています。

第2編第2章 世界の諸地域
第3編第3章 日本の諸地域

大観ページ

導入 ページ

本文(追究)ページ

まとめ・ふり返りページ

1 導入資料

本文ページの導入になる資料と、それに関する問いかけを設けています。

関心と意欲を引き出す

2

学習課題

本文ページで何を学んでいくのかを示しています。この課題を考えながら、学習を進めていきます。

学習に見通しをもたせる



見方・考え方

学習課題の解決に向けて手がかりになる主な「見方・考え方」の例を示しています。

身につけた知識を活用して、学習課題を解決していける紙面になっています。



資料活用

資料を用いた活動を示すことで、必要な情報の読み取りなどの技能を高めることができるコーナーです。



2 現在にいきづく歴史的都市の特色

学習課題 歴史的都市である京都や奈良には、どのような特色があるのでしょうか。

見方・考え方 地域どうしのつながり

かつて首都であった歴史が、地域の景観や文化にどのように影響しているのかに着目しましょう。



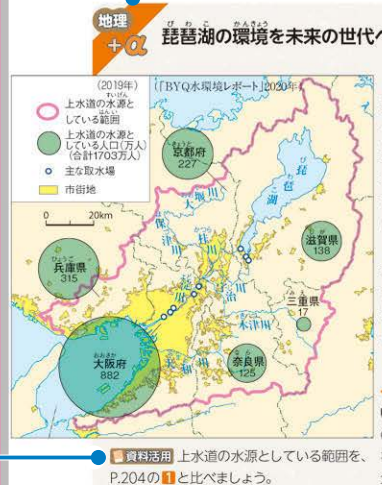
208 歴史 近畿地方が日本の政治・経済・文化の中心だった時代はいつごろでしょうか。

豊かな歴史に 古くから日本の中心地として発展した近畿地方には、奈良の平城京や京都の平安京など、各地に都(首都)がおかれました。京都は、首都を意味する「京」と「都」が都市名になりました。「近畿」という名称も、首都のまわりの地域を意味する畿内という言葉がもとになっています。京都・大阪は「京」ではなく、中心地の意味をもつ「府」とよばれています。歴史の長い近畿地方には、貴重な文化財が集中しています。京都や奈良には古くから続く寺院や神社も多く、その一部は世界文化遺産に登録されています。

千年の歴史をもつ京都 京都は、日本の歴史のなかで、最も長いあいだ首都であった都市です。およそ1200年前につくられた平安京から発展しました。東西南北にのびた基盤の目のようにまっすぐな道路や、四条通、五条通といった道路の名前は、



見開きの学習内容を掘り下げて、地理を楽しく学び、学習内容の理解を深めていくことができるコラムです。



茶坊制という古代の都市計画のなごりです。長い歴史のなかで日本の伝統文化ははぐくまれてきたことも、京都の特色の一つです。茶道や華道には、京都に本部をおく流派が多くみられます。日本料理(和食)や和菓子、織物の伝統を守り、未来に伝えようとしている店舗や業者も少なくありません。和食は、ユネスコ無形文化遺産に登録されています。

京都の周辺では、都市に住む住民のために野菜を育てる近郊農業が盛んになりました。そこで守り伝えられた品種は、京野菜とよばれています。京都の南にある宇治を中心とした地域では製茶業が盛んとなり、現在では宇治茶の名前で世界的に親しまれています。

日本の歴史のふもと、奈良 奈良には、東大寺、興福寺、春日大社など、およそ1300年前の平城京の時代から続いている寺院や神社があります。平城京が都でなくなった後も、寺院や神社と周辺の町は残り、宗教・文化の中心地の一つとして、北にある京都に対して南都とよばれ、現在の奈良へと発展してきました。平城京の中心であった平城宮跡では、発掘調査や建物の復元が進みかつての景観が想像できるように整備されています。



タブレットマーク

このマークのついた教材は、二次元コードを読み込んだ先のWebページにある教科書QRコンテンツで、学習を深めることができます。→本冊子P.18参照



SDGsと特に関連する箇所を示しています。



対話的な活動など協働的な学びに関連した箇所を示しています。

3 本文・図版

十分な文字量を確保し、平易な表現を用いて、生徒の読み取りを支援しました。

丁寧な記述で学習を助ける

4

確認 表現

学習課題に対応し、本文ページの学習を確かにする問いを示しています。学習の最後に取り組むことができます。

1時間の学習をふり返る



指導と評価の一体化

知識・技能、思考・判断・表現

「確認」は知識・技能、「表現」は思考・判断・表現に対応しており、評価に活用していただくこともできます。

まとめ・ふり返りページでは、習得した知識を確認した後、「編・章・節の問い」に答える活動を行います。また、ポートフォリオを用いて学習をふり返ることで、学びの自己調整ができるようになっています。

第2編第2章 世界の諸地域
第3編第3章 日本の諸地域

大観ページ

導入 ページ

本文(追究) ページ

まとめ・ふり返りページ

評価

指導と評価の一体化

観点ごとに活動を整理

まとめ・ふり返りページでは、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」それぞれの評価の観点に沿って活動を整理しています。



生徒は学習のふり返りをすることができるだけでなく、教師はどのように評価をすればよいかわかりやすい構成になっています。

●第2編第2章、第3編第3章の各節の「知識」の問い

STEP1では各州・各地方の白地図を見ながら穴埋め形式の問いに答え、STEP2では自分の言葉でキーワードを説明する形に統一しています。

注目

「知識」の問いの使い方

STEP1の穴埋め問題の文章とSTEP2のキーワードは、組み合わせて使うことで知識の確実な習得に役立てることができます。例えば、STEP2のキーワードが答えになる問題を作成して、グループで出題し合う活動などが考えられます。問題を作成する際には、STEP1の問題文が参考になります。

●教科書QRコンテンツ

まとめ・ふり返りページでは、教科書QRコンテンツとして導入ページに設定しているのと同じポートフォリオをダウンロードできます。また、単元全体の問いをランダムに出題する確認小テストをご用意しています。

第3節

近畿地方—歴史的背景をテーマに—

まとめとふり返り

近畿地方の学習をまとめよう

第3節の問い

近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

自分の考えをまとめるために必要な知識を確認しよう

STEP1 下のキーワードを参考にして、知識を整理しよう。

① あ～き の県名、② の山地、③ の湖・川の名前を答えよう。

④ ①～③ にあてはまる言葉を答えよう。

自然環境

⑤ ①～③ にあてはまる言葉を答えよう。

産業

⑥ ①～③ にあてはまる言葉を答えよう。

歴史的背景

⑦ ①～③ にあてはまる言葉を答えよう。

STEP2 上の問題文を参考にして、自分の言葉でキーワードを説明しよう。説明できたものにはチェックを入れよう。

⑧ ①～③ にあてはまる言葉を答えよう。

⑨ ①～③ にあてはまる言葉を答えよう。

⑩ ①～③ にあてはまる言葉を答えよう。

⑪ ①～③ にあてはまる言葉を答えよう。

⑫ ①～③ にあてはまる言葉を答えよう。

⑬ ①～③ にあてはまる言葉を答えよう。

⑭ ①～③ にあてはまる言葉を答えよう。

⑮ ①～③ にあてはまる言葉を答えよう。

⑯ ①～③ にあてはまる言葉を答えよう。

⑰ ①～③ にあてはまる言葉を答えよう。

⑱ ①～③ にあてはまる言葉を答えよう。

⑲ ①～③ にあてはまる言葉を答えよう。

⑳ ①～③ にあてはまる言葉を答えよう。

㉑ ①～③ にあてはまる言葉を答えよう。

㉒ ①～③ にあてはまる言葉を答えよう。

㉓ ①～③ にあてはまる言葉を答えよう。

㉔ ①～③ にあてはまる言葉を答えよう。

㉕ ①～③ にあてはまる言葉を答えよう。

㉖ ①～③ にあてはまる言葉を答えよう。

㉗ ①～③ にあてはまる言葉を答えよう。

㉘ ①～③ にあてはまる言葉を答えよう。

㉙ ①～③ にあてはまる言葉を答えよう。

㉚ ①～③ にあてはまる言葉を答えよう。

㉛ ①～③ にあてはまる言葉を答えよう。

㉜ ①～③ にあてはまる言葉を答えよう。

㉝ ①～③ にあてはまる言葉を答えよう。

㉞ ①～③ にあてはまる言葉を答えよう。

㉟ ①～③ にあてはまる言葉を答えよう。

㊱ ①～③ にあてはまる言葉を答えよう。

㊲ ①～③ にあてはまる言葉を答えよう。

㊳ ①～③ にあてはまる言葉を答えよう。

㊴ ①～③ にあてはまる言葉を答えよう。

㊵ ①～③ にあてはまる言葉を答えよう。

㊶ ①～③ にあてはまる言葉を答えよう。

1 知識の確認

単元で学習した内容について、地図やキーワードに沿って確認して知識を整理するとともに、知識を定着させることができます。

知識を評価する

自分の考えをまとめよう

右の例を参考にしながら、マインドマップを作って近畿地方の地域の特徴を整理し、近畿地方にみられる地域の課題「歴史的背景と人々の生活の両立」(P.207)について考えよう。

STEP1 用紙の中央に、マインドマップのテーマをかきまよう。

STEP2 テーマに関連する内容を、枝のような形に配置しながらかき加えよう。

STEP3 かき加えた内容をそれぞれ細分化しながら枝を広げていき、マインドマップを完成させよう。

第3節の問いについて自分の考えをまとめよう

近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

第3節の問いについて自分の考えをまとめよう

近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

第3節の問いについて自分の考えをまとめよう

近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

第3節の問いについて自分の考えをまとめよう

近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

第3節の問いについて自分の考えをまとめよう

近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

第3節の問いについて自分の考えをまとめよう

近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

第3節の問いについて自分の考えをまとめよう

近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

第3節の問いについて自分の考えをまとめよう

近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

第3節の問いについて自分の考えをまとめよう

近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

第3節の問いについて自分の考えをまとめよう

近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

第3節の問いについて自分の考えをまとめよう

近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

第3節の問いについて自分の考えをまとめよう

近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

第3節の問いについて自分の考えをまとめよう

近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

第3節の問いについて自分の考えをまとめよう

近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

第3節の問いについて自分の考えをまとめよう

近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

第3節の問いについて自分の考えをまとめよう

近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

第3節の問いについて自分の考えをまとめよう

近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

第3節の問いについて自分の考えをまとめよう

近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

第3節の問いについて自分の考えをまとめよう

近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

第3節の問いについて自分の考えをまとめよう

近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

第3節の問いについて自分の考えをまとめよう

近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

第3節の問いについて自分の考えをまとめよう

近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

第3節の問いについて自分の考えをまとめよう

近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

第3節の問いについて自分の考えをまとめよう

近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

第3節の問いについて自分の考えをまとめよう

近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

第3節の問いについて自分の考えをまとめよう

近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

第3節の問いについて自分の考えをまとめよう

近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

第3節の問いについて自分の考えをまとめよう

近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。

思考ツールの提案や、いくつかのステップに分けた活動を提示することで、活動の流れが見えやすくなっています。

思考・判断・表現を評価する

注目

思考ツールの提案

まとめの活動では、さまざまな思考ツールを使った活動を提案しています。また、思考ツールを端末上で操作していただけるコンテンツをWebサイトで公開しています。サンプルはこちら



教科書内で提案している思考ツールの例

ツール	掲載箇所
フィッシュボーンチャート	P.61、77、233
ダイヤモンドランキング	P.89、185
座標軸	P.117
クラゲチャート	P.167
マインドマップ	P.217

注目

議論してみよう

第2編第2章、第3編第3章の各節の最後で「構想」に取り組めます。主体的・対話的で深い学びを実現することができます。

3

学習のふり返り

最後に単元の学習をふり返る活動を設定しています。自らの学びを自己調整したり、変容を見取ったりすることができます。

主体的に学習に取り組む態度を評価する

見方・考え方を働かせた学習を実現する工夫

巻頭口絵

(地理的な見方・考え方の解説)

学習指導要領に示された、五つの「地理的な見方・考え方」について分かりやすく解説しています。

見開き上部にある①～⑤の五つの「地理的な見方・考え方」の解説をもとに、イラストを見ながら問いの答えを考えることで、自然に「地理的な見方・考え方」を捉えることができます。

巻頭で捉えた「見方・考え方」を本文ページで働かせていくことで、より深く「見方・考え方」を身につけることができます。

本文ページの各見開き

五つの「地理的な見方・考え方」のうち一つを提示しています。

各見開きでは、学習課題とともに示しているそれぞれの「地理的な見方・考え方」に基づいて、本文を記述し、図版を掲載しています。

学習指導要領に示された「見方・考え方」を、以下のように言い換えています。

人間と自然環境との相互依存関係

空間的相互依存作用

③人と自然とのかかわり

④地域どうしのつながり

地理的な見方・考え方って？

① 位置や分布

それはどこにあるのでしょうか？
それはどのように分布しているのでしょうか？
読み取りポイント 地名や目印になるもの

② 場所

そこはどんなところでしょうか？
読み取りポイント まわりを見わたすとわかる自然や社会のようす

③ 人と自然とのかかわり

人々の生活と自然環境は、たがいにあたえ合っているのでしょうか？
読み取りポイント 地形・気候に合わせた人々のくふう

④ 地域どうしのつながり

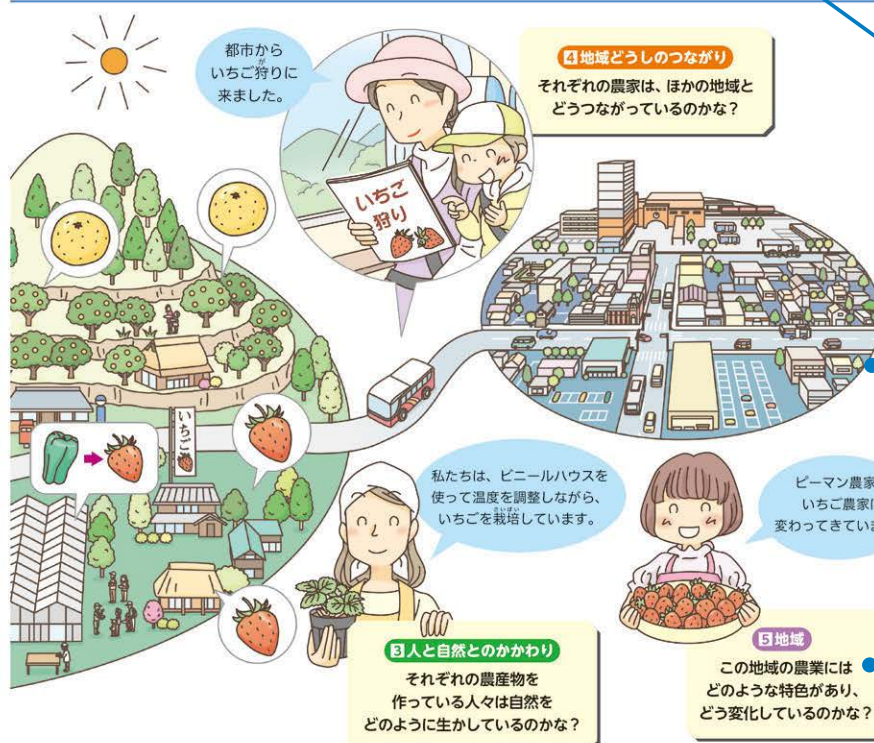
そこは、ほかの場所とどのような関係をもっているのでしょうか？
読み取りポイント 人、もの、情報の流れ

⑤ 地域

そこにはどんな特色があるのでしょうか？
そこはどのように変化しているのでしょうか？
読み取りポイント その地域ができる条件、その地域の変化

地理的な見方・考え方を働かせてみよう！

いちご農家を例に、地理的な見方・考え方を働かせる練習をしましょう。 ヒント



番号の対応

巻頭・本文の「見方・考え方」に①～⑤の番号を付して、わかりやすくしています。

五つの「見方・考え方」の概念についての解説

様々な地理的事象を盛り込んだ、見れば見るほど楽しいイラスト

問いを考えるためのヒント

それぞれの「見方・考え方」を働かせて考える問い

① 位置や分布を提示した見開き

P.14

① 日本の位置をとらえよう

学習課題 世界のなかで、日本の位置はどのようにあらわすことができるのでしょうか。

●見方・考え方 ①位置や分布

日本の東西と南北の範囲や、日本と大陸、大洋との位置関係に留意しましょう。

緯度・経度からみた日本の位置

世界では、さまざまな方法があります。P.10～11で学習した緯度・経度を使う方法もその一つです。

日本は、南北はおよそ北緯30度から46度、東西はおよそ東経130度から145度です。

② 場所を提示した見開き

P.40

⑦ さまざまな宗教と人々の生活

学習課題 世界の人々は、どのような宗教を信仰しているのでしょうか。

●見方・考え方 ②場所

主な宗教の分布と、その場所での人々の生活に留意しましょう。

世界の三大宗教

世界では、さまざまな宗教が信仰されています。仏教は、南アジアのインドでおこりました。その後、東南アジアや東アジアに広まりました。日本には6世紀に伝わり、多くの僧侶が中国にわたって教を学びました。キリ

本文ページではこのように示しています。



常に「見方・考え方」を意識しながら学習

各見開きの学習の際に「地理的な見方・考え方」を繰り返し意識することで、生徒が「見方・考え方」を自ら働かせることができるようになります。

③ 人と自然とのかかわりを提示した見開き

P.152

④ 災害にそなえるために

学習課題 自然災害から地域や人々の生活を守るために、私たちはどのような取り組みをするべきでしょうか。

●見方・考え方 ③人と自然とのかかわり

自然災害が起るやすい日本では、さまざまな防災・減災の取り組みが行われていることに留意しましょう。

防災・減災へのくふう

日本では、明治以降、建設技術の進歩や経済発展にともなって、防災対策が進められ、堤防、ダム、防潮堤などが整備されました。また、観測技術の進歩によって、津波、気象などの警報、注意報より正確になりました。

④ 地域 どうしのつながりを提示した見開き

P.224

② 日本を支える工業の中心地、東海

学習課題 東海では、なぜ自動車をはじめとした工業が盛んなのでしょうか。

●見方・考え方 ④地域どうしのつながり

三大都市圏との位置関係や、工業製品・部品の輸送に留意しましょう。

自動車工業の盛んな東海

中京工業地帯は、自動車などの輸送機械の生産が盛んで、日本最大の工業地域になっています。自動車工業で有名な豊田市では、かつては繊維工業が盛んでした。繊維工業のための機械を製造していた企業が、その技術を生

⑤ 地域を提示した見開き

P.198

⑤ 交通・通信を生かした地域活性化

学習課題 中国・四国地方では、交通網や通信網を生かしてどのように地域の魅力を発信しているのでしょうか。

●見方・考え方 ⑤地域

交通網や通信網を活用した地域活性化の取り組みで、地域がどのように変化しているかに留意しましょう。

過疎地域における交通・通信の活用

中国・四国地方では、中国山地、四国山地の山間部、山陰や南四国などで過疎化が進んでいます。過疎地域では人口の減少や高齢化が進んでいて、産業がとろえたり、鉄道やバスが廃止・減便されたり、学校・病院などの